

故郷の山を歩く「金山・雨生山」

I. T.

◎山行日：2019年9月28日（土）、10月26日（土）

◎メンバー：I. T.（単独）

3種類のセンブリ（白・ムラサキ・イヌ）が見られると聞き、ぜひ一度は行ってみる価値ありと友人と出かけることにした。

JR飯田線は何回か利用したことはあるが、新城駅に降りたのは初めてかもしれない。ここからタクシーで30分くらい走りのどかな里山の麓が今日のスタート地点となる「桜の園」である。桜の季節にはきっとたくさんの桜が咲いて見事なんだろうと思いながら歩き始める。花の撮影が目的だろう、立派なレンズ付きのカメラを持った人が多い。

登山道に手前でツリガネニンジン・吾亦紅、登山道に入るとすぐ花冠が風車のようにクルクルと巻いているエンシュウハグマに出会うことができた。

途中軽い藪漕ぎをし、低山特有の道迷いをしながら展望のない金山の山頂に着くと後は楽しい稜線歩きが始まる。そしてセンブリもあちらこちらで見られるようになる。残念ながら今回はイヌセンブリは見られなかったが、シロセンブリ、ムラサキセンブリ、ミカワマツムシソウを至る所で見ることができた。



雨生山は展望もありここからも浜名湖を見ることができた。愛知県側を見るとやはり地元の人気の山、本宮山がドーンと見え奥三河の山々に繋がっていく。

山歩きを本格的に楽しむようになって数年。行きたい山は数多。シリウスの先輩方を見習って行けるところまで行ってやるぞ！と意気込む私だが、山関係のブログ等を読んでいつもうらやましく思うのが「MY山」＝（気軽に行ける山）のある人だ。

朝、ゆっくり支度をしてのんびり歩いて帰ってこられる山。今回故郷の山を歩いたが、これぞ「MY山」と言える山だった。

（了）